

鬼女紅葉の岩屋



紅葉が隠れ住んだ岩穴。小さな沢に面して切り立った崖にポッカーと二つの穴があります。向かって左が根城とした穴といわれ、入り口は狭いですが中は広がっています。向かって右側の穴は、入り口が広く奥行きは浅く「前庭」と呼ばれて

います。また、岩屋の近くには、奥の岩屋、紅葉の化粧水、屏風岩、舞台岩などの史跡がたくさんあります。

荒倉キャンプ場

昭和42年に開設され、早くから都会の人に親しまれてきました。周辺の森林は動植物の宝庫であり、紅葉の史跡めぐりや荒倉山トレッキングなどのコースも整備されていて、豊かな自然をたっぷり楽しむことができます。キャンプ場の一角に能舞台があり、秋の紅葉祭りでは謡曲などが演じられます。



大昌寺 (紅葉ゆかりの寺)



曹洞宗の名刹。紅葉ゆかりの寺として知られています。紅葉と維茂（惟茂）が一緒にまつられている位牌と、松代藩の絵師三村養益の紅葉退治を描いた画幅があります。また、本堂裏の室町風の庭園が見事で寺の歴史を物語っています。

もみじ 紅葉伝説のあらまし

今から千年も昔の話、戸隠の荒倉山に、紅葉と呼ばれる美しく教養の高い女性が住んでいました。紅葉は、以前、京の都で華々しい活躍をしていましたが、訳あって山深い戸隠に流されてきたのです。紅葉は村人に、裁縫や琴を親切に教えたり、病気を治したりしてくれるので、だれからも慕われていました。村人は、紅葉の住んでいる岩屋に木造の部屋を造りつけたり食べ物を運んだりして大切に思っていました。

しかし、都への想いが募ってきた紅葉は、家来たちを使ってあちこちで悪事を働いたので、鬼女と呼ばれるようになりました。

それを聞いた京の朝廷は、平維茂に紅葉一派の征伐を命じました。しかし、紅葉の妖術を使った作戦に大苦戦してしまいます。そこで、維茂は別所の北向観音に17日間の断食の願を掛け、その満願の日に夢枕で降魔の剣を賜ります。その剣を携えた維茂は、紅葉の住処をいっきよに襲い紅葉一派を退治しました。京へ引き上げる維茂に、紅葉を慕う村人は、紅葉をこの地に葬るよう懇願しました。今その墓がこの地に残っています。

能舞台 (紅葉狩のふるさと)



荒倉キャンプ場の一角にあって能の上演もされる建物。紅葉ゆかりの地として、謡曲に親しむ人が多いこの地にふさわしい施設で、紅葉祭りには催しの中心会場になります。この能舞台は貸出しもしています。詳細は下記にお問い合わせください。

問い合わせ先

一般社団法人戸隠観光協会

〒381-4101 長野市戸隠1484-2 戸隠商工会館内
Tel.026-254-2888 e-mail.info@togakushi-21.jp

長野市商工会 戸隠支所

〒381-4101 長野市戸隠1484-2
Tel.026-254-2541 e-mail.shokokai@s-togakushi.com

信州戸隠荒倉山

心洗われる

紅葉伝説の里

鬼女紅葉祭り (10月下旬)

能舞台

キャンプ場

トレッキング

発行 鬼女紅葉を偲ぶ会



こんな花も見られます



ラショウモンカズラ



カタクリ

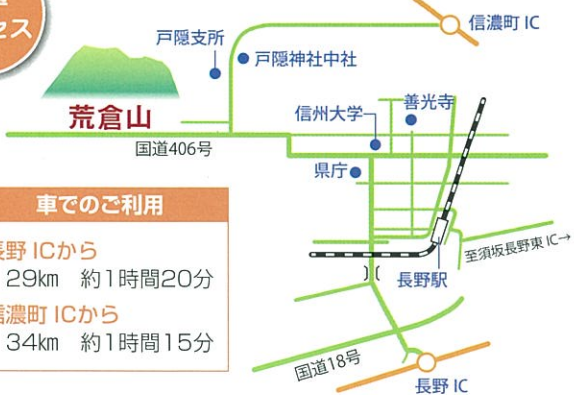


ヤマシャクヤク



ヒカゲツジ

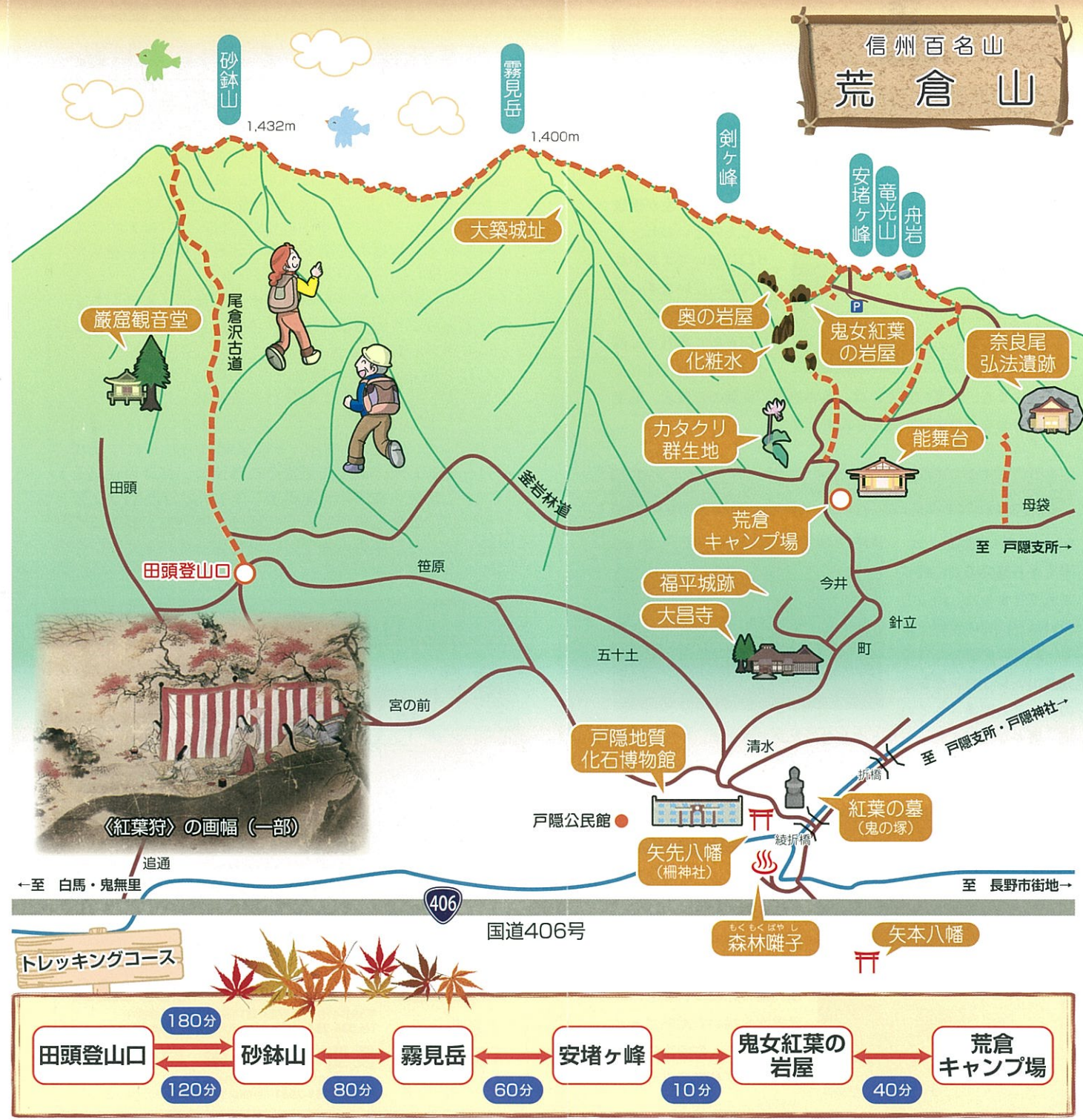
交通
アクセス



車でご利用

長野 ICから
29km 約1時間20分
信濃町 ICから
34km 約1時間15分

信州百名山
荒倉山



《紅葉狩》の画幅(一部)

トレッキングコース